

# 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について

(2022年4月～2023年3月)

2023年5月

白河信用金庫

# 目次

- |                          |         |
|--------------------------|---------|
| 1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮 | 1～5 ページ |
| 2. 地域の面的再生への積極的な参画       | 6～7 ページ |
| 3. SDGsの達成に向けた取組み        | 8～9 ページ |
| 4. 積極的な情報発信              | 10ページ   |
| 5. 経営改善支援の取組み実績          | 11 ページ  |

## 1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

### (1) 創業・新事業開拓を目指す企業への取組み

- ・ 創業・新事業支援制度資金及び公的助成制度の情報提供と資金需要への対応について

創業支援資金 (設備資金)	令和3年度		令和4年度		増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
純新規融資件数	10件	166百万円	6件	342百万円	△4件	176百万円
新規融資件数	2件	66百万円	0件	—百万円	△2件	△66百万円
合計	12件	232百万円	6件	342百万円	△6件	110百万円

\*・純新規:取引がなかった先への新規融資 ・新規先:取引があった先への新事業への新規融資

- ・ 新たな資金調達の手段を活用した取組みについて

#### クラウドファンディングへの取組み

	令和3年度	令和4年度	増減
相談件数	0先	0先	0先

### (2) 今後の成長が予想され更に発展が見込まれる企業への取組み

- ・ 企業の事業内容・返済財源を見極め、担保・保証に過度に依存しない融資の推進について

	令和3年度	令和4年度	増減
無担保融資先数	841先	799先	△42先
無担保融資額	15,269百万円	15,025百万円	△243百万円

- ・「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を踏まえた対応状況について

	令和3年度	令和4年度	増 減
無保証融資先数	87先	106先	19先
全体に占める割合	5.70%	7.29%	1.59%

### (3) 経営改善が必要な企業(自助努力により経営改善が見込める企業など)への取組み

- ・ 企業再生・経営支援先を選定し、事業改善に向けた支援および改善の進捗状況について

取引先企業13先を選定し、経営改善に積極的に関与することにより経営改善策の提案など課題解決に向けたサポートを行いました。また、半期毎に経営改善計画書「進捗状況」管理表に基づき、進捗状況の検証を行い常務会に報告しました。

令和4年度の経営改善支援の取組み実績につきましては、11ページをご覧ください。

- ・ 経営改善が見込める企業への外部機関と連携した取組み状況について

外部連携先	令和3年度	令和4年度	増 減
福島県・栃木県中小企業活性化協議会	7先	3先	△4先
税理士・中小企業診断士	45先	47先	2先
福島県よろず支援拠点	13先	13先	0先
オールふくしま経営支援連絡協議会	2先	0先	△2先
福島産業復興機構 他	10先	8先	△2先
合 計	77先	71先	△6先

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている取引先企業への取組状況について

令和4年4月～令和5年3月末	受付	実行件数	実行金額
新型コロナウイルス対応貸出	27件	27件	337百万円
同資金に係る条件変更	23件	23件	1,019百万円

#### (4) 事業再生や業種転換が必要な企業や事業承継が必要な企業への取組み

- ・ M&Aによるマッチング支援の取組みについて

M&Aによるマッチング支援取組み先	0先	信金キャピタル口及び福島県事業承継引継支援センターと連携
-------------------	----	------------------------------

- ・ 事業承継支援の取組みについて

事業承継支援取組み先	15先	14先は当金庫が対応、1先は税理士を紹介し事業承継支援実施
------------	-----	-------------------------------

## (5) 本部による営業店支援および専門的な人材の育成や推進態勢の整備

- ・ 営業担当者、融資担当者を対象とした金庫内勉強会の開催について

実施日	研修会、勉強会の実施内容
令和 4年 10月	日本政策金融公庫と「新型コロナ対策資本金劣後ローン」の勉強会実施
令和 4年 5月～ 6月	外部講師による火災保険「グッドすまいる」及び業務災害総合保険の研修会実施
令和 4年 4月～令和 5年 2月	営業推進力研修会「消費資金・預かり資産他」10回実施
令和 5年 1月 4日～ 31日	顧客本位の業務運営に関する原則「マネープランガイド」の勉強会実施
令和 5年 1月 19日、24日	外部講師による「窓口テラー職員声掛けセールス」の基礎研修会実施

- ・ 専門的な人材育成のため外部研修への職員派遣について

### < 外部研修の実施状況 >

福島県信用金庫協会主催の4講座へ7名、東北地区信用金庫協会主催の6講座へ7名派遣し人材育成に努めました。

## (6) 外部機関・外部専門家と連携した企業への取組み

- ・ 国・地方公共団体・商工関係団体・外部機関・外部専門家と連携した取組みについて

認定税理士、福島県よろず支援拠点、福島県・栃木県中小企業活性化協議会、他金融機関、商工会議所  
福島県・栃木県信用保証協会と連携し、71先の取引先に対し経営改善の支援を行いました。

- ・ 認定支援機関としての経営相談会の開催について

ウィズコロナ・アフターコロナにおける販路拡大、資金繰り、事業承継、第二創業、経営改善計画策定等の  
課題解決のため、経営相談会を12回開催し、延べ18件の経営相談に応じ支援先企業へのサポートを行いました。

## (7) 人材採用支援への取組み

- ・ 福島県プロフェッショナル人材戦略拠点と連携した取組みについて

連携先(人材ビジネス事業者)	令和4年度
ヒューレックス□ 他7社	2先

## 2. 地域の面的再生への積極的な参画

### (1) 地域貢献や経営相談などへの取組み

- ・中、高校生を対象とした「はくしんマネースクール」の開校について

地域貢献の一環として、令和4年11月28日高校生対象の「はくしんマネースクール」を開校しました。

- ・「はくしん若手経営者の会」の会員による人脈拡大とセミナーの開催による経営者育成について

令和4年度の活動については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、オンラインによる経営セミナーを5回開催いたしました。

○会員数70名

- ・販路拡大のためビジネスマッチングイベントへの出展案内について

実施日	イベント内容	出展数
令和4年11月10日	「ビジネスマッチ東北2022秋」(仙台)	2社 出展
令和4年12月6日～7日	城南信用金庫主催の「よい仕事おこしフェア」(東京ビッグサイト)	1社 出展
令和5年1月10日～	東北しんきんビジネスクラブ「東北しんきん 笑談 .com」	2社 出展



## (2) お客様満足度向上への取組み

- ・ サンデーバンキング(日曜営業)により、顧客の利便性の向上について

営業内容	営業日	営業場所
サンデーバンキング営業	毎週日曜日 (年末年始、ゴールデンウィークの日曜日を除く)	西支店(新白信ビル内)

\* 西支店の日曜営業は、令和5年4月23日(日)の営業をもって終了しました。

- ・ はくしんイベントホールの利用状況について

施設	ご利用回数
新白信ビルイベントホール	40回
新白信ビル1階会議室	110回
新白信ビル2階会議室	21回
東支店イベントホール	0回
合計	171回

○各種発表会、サークル活動、会議等にご利用頂きました。

○新型コロナウイルス感染以前の令和元年度対比95件減少しています。

- ・ 地域振興を図るため各種スポーツ・イベント等の取組み支援について

実施日	各種スポーツ・イベント等の取組み支援
令和4年12月	「白河駅前イルミネーション」へ5万円協賛

\* 新型コロナウイルス感染対策のため、例年支援している各種スポーツ・イベント開催が中止となり、その他の支援実施はありませんでした。

### 3. SDGsの達成に向けた取組み

#### 福島県8金庫「SDGs共通の『地域環境』」への取組み

(1) 地域温暖化防止策推進のため「ふくしまゼロカーボン宣言」への参加、CO2排出量削減への取組みについて

取組年度	削減科目	削減目標	取組結果
令和4年度	CO2排出量の削減	8.49%	10.97% 削減

(2) 一斉クリーン作戦の共同実施への取組みについて

実施日	令和4年10月12日
対象地域	当金庫営業エリア内

(3) クールビズ・ウォームビズの共同実施への取組みについて

クールビズ	令和4年4月18日～令和4年10月9日迄実施
ウォームビズ	未実施

(4) 災害用備品の配備への取組みについて

災害用備蓄品	食料(フリーズドライピラフ、ビスケット) 1,500食・水・マスク・簡易トイレ・毛布・テント・タオル・軍手
--------	---

(5) ペーパーレス化への取組みについて

	取組状況
ペーパーレス化	個人顧客の自動継続定期預金満期案内、通帳未記入取引照合表の発送終了
	全営業店のコピー機にスキャナー機能を追加、本支店間のFAX送信を電子メールに切替
	帳表による口座振替先・給与振込先を対象にデータ伝送化及び通帳レスを推進

## (6) SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた取組み支援について

- ・令和4年11月、「はくしんSDGsサポートローン」を創設し、SDGs達成に向け取組んでいる取引先へ資金提供しました。

令和4年度	実行件数	実行金額
はくしんSDGsサポートローン	2件	102百万円

## 4. 積極的な情報発信

### (1) 地域やお客様への情報の発信

- ・ 営業地区内への情報発信について

「白河信用金庫 ディスクロージャー誌2022」を発刊しました。

- ・ 営業地区内の景況レポート発行について

「はくしん景況レポート」を年4回発行しました。

- ・ 資産運用相談会、年金相談会を開催し、資産形成に関する情報発信の実施状況について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため相談会開催日を特定せず、適時窓口で受付し相談対応しました。

- ・ 地域密着型金融推進計画の成果の公表について

ホームページ及び店頭に備え付けし、公表いたします。

## 5. 経営改善支援の取組み実績

信用金庫名 白河信用金庫

【2022年4月～2023年3月】

	期初債務者数 A	うち				経営改善支援取 組み率 = $\alpha / A$	ランクアップ率 = $\beta / \alpha$	再生計画策定率 = $\delta / \alpha$	
		経営改善支援取組 み先数 $\alpha$	$\alpha$ のうち期末(3月末) に債務者区分がランク アップした先数 $\beta$	$\alpha$ のうち期末(3月末) に債務者区分が変化 しなかった先数 $\gamma$	$\alpha$ のうち再生計画を 策定した先数 $\delta$				
正常先 ①	1,226	0		0	0	0.0%		—	
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	252	104	8	93	102	41.3%	7.7%	98.1%
	うち要管理先 ③	0	0	0	0	0	—	—	—
破綻懸念先 ④	27	17	0	16	15	63.0%	0.0%	88.2%	
実質破綻先 ⑤	20	4	0	4	4	20.0%	0.0%	100.0%	
破綻先 ⑥	1	0	0	0	0	0.0%	—	—	
小 計(②～⑥の計)	300	125	8	113	121	41.7%	6.4%	96.8%	
合 計	1,526	125	8	113	121	8.2%	6.4%	96.8%	

注) 期初債務者数及び債務者区分は令和4年4月当初時点で整理

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。

・ $\beta$ には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は $\alpha$ に含めるものの $\beta$ に含めない。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は $\beta$ に含める。

・最初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が  
期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理すること。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。

・ $\gamma$ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上のこと。

・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

・経営改善支援取組み率、ランクアップ率及び再生計画策定率は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。